

第72回 全国幼児教育研究大会

愛知大会を開催しました

理事長 福井直美

令和6年8月1・2日、酷暑の中、ご来賓を含め全国から700人余りの皆様にご参加いただき、第72回全国幼児教育研究大会 愛知大会を、本会初代会長浅野寿美子先生のおひざ元、第1回研究大会の開催地である愛知県名古屋市において開催いたしました。

未来を見据え2050年には日本の社会を中心的にけん引していく子どもたちには、困難を乗り越え、豊かな人生を切り開き、自己充実・自己発揮をして生きる力の基礎を乳幼児期に身に付けることが大切です。そこで、乳幼児期の教育・保育に大切なことは何か、一人一人のウェルビーイングとは何か、育ちの方向性、環境や援助の在り方に視点をあて2日間、「一人一人のウェルビーイングを求めて」を大テーマに、サブテーマを「子どもの育ちを未来につなげる」として参加者の皆様が共に語り合いました。

5つの分科会の提案はどれも具体的でテーマに沿った素晴らしい実践内容でしたので、和やかな雰囲気の中、白熱しながら内容の濃いグループ討議につながりました。特に第5分科会は愛知大会から新たに設けた経営に関する分科会で、各園の主任・副園長・園長先生方が大勢ご参加され各園の園経営の課題を熱く語り合いながら、それぞれに課題解決のヒントを得られた様子が見られました。第6分科会の「親子でつくって遊ぼう」ではレゴブロックを使って夢中になって遊ぶ中に「創造力・想像力」が発揮され楽しい作品がたくさん出来上がりました。各分科会の講師の皆様、講話の文部科学省佐藤尚子様、講演の白木康雄様には貴重なお話をいただきありがとうございました。

終わりにになりましたが、本研究大会にご指導・ご助言をいただきました愛知県、名古屋市、並びに愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会をはじめとして関係の皆様、厚くお礼申し上げます。暑い中、公開保育をしてくださった各園の園長先生・先生方ありがとうございました。

また、本研究大会の実施に当たり、様々なご準備をいただきました リーダーの平松章予運営委員長様を中心に「チーム愛知」として温かいおもてなしと気配りの運営をしていただきありがとうございました。

全幼研の暑い夏の熱い研究大会は次の「滋賀県」へとバトンは渡されました。

